

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アレッタ児童デイサービス阪東橋		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年3月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しない工夫に対して満点の評価をいただきました。 お子様が通所をとて楽しんでしているというお声も多数あり、日々変化のある楽しい支援を提供できている。	プログラムがマンネリ化しないよう、毎月新たなプログラムを企画・実施しています。 また、密集を避けるためにZOOMなどのオンラインツールも柔軟に活用し、安全かつ楽しい活動を意識しています。	個々に応じた遊び方で成長につながっているとお声を活かし、今後はさらに一人ひとりのアセスメントを深め、得意なことを伸ばすオーダーメイドの個別プログラムの充実を図ってまいります。
2	日頃からの子どもの状況伝達や、保護者様への丁寧な説明について高い評価をいただいております。 アプリを通じた細やかな様子のお知らせも感謝されており、保護者様との厚い信頼関係が築けている。	毎日必ず朝礼と終礼を実施し、支援内容や役割分担、当日の振り返りを職員間で徹底的に共有しています。 当日不在の職員でも内容が把握できるよう、詳細な記録を残すことを意識的に行っております。	アプリでの情報発信において、お子様の笑顔や活動の様子がよりリアルに伝わるよう、プライバシーに十分配慮した上で、写真で視覚的なご報告を増やしていく工夫をしております。
3	非常災害の避難訓練や、マニュアルの周知に関しても満点の評価を獲得しました。 保護者様が安心してお子様を預けられる、安全で適切な環境と体制が整っている点も当事業所の重要な強みであると思えます。	保護者様への連絡体制として専用アプリを導入し、活動概要や行事予定を定期的に配信しています。 デジタルツールを駆使することで、迅速で透明性の高い情報共有に努めております。	児童2.5人に対して職員1名という現在の適切な配置を活かしつつ、職員一人ひとりの支援スキルをさらに高めるため、外部研修への参加や事業所内でのケーススタディを積極的に行い、支援の質を底上げします。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や保護者会の開催について、「どちらともいえない」「いいえ」の回答が半数以上を占めました。 保護者様同士が連携し、悩みを共有できる場を提供できていない。	保護者会や地域住民の招待を実施できていない最大の要因は、感染症予防の観点から「密集・密閉を避ける」という方針を徹底しているためです。 安全面を優先した結果、対面での交流機会が失われております。	対面での密集を避けるため、すでに支援で導入しているZOOM等を活用し、オンラインでの保護者会や、少人数制のテーマ別座談会を企画・開催し、保護者様同士の横のつながりを支援します。
2	地域住民の行事招待や、障害のない子どもと活動する機会に対して、十分な取り組みができておりません。地域に開かれた事業所運営や、外部コミュニティとの接点作りが大きな課題となっています。	放課後児童クラブや児童館との交流を進めるための、具体的な連携体制や企画づくりに着手できていないことが要因です。 日々の内部の支援業務に注力するあまり、外部へ向けた活動へのリソース配分が不足しています。	感染症対策と両立できるよう、まずは屋外での公園活動を通じた自然な交流や、オンラインでの近隣施設との合同イベントなどの地域交流の形を模索し、実行してまいります。
3	全体的な職員配置には問題ありませんが、「送迎に関しては職員の人数が少なめなので増えてほしい」という具体的なご意見をいただきました。 特定の時間帯におけるマンパワー不足の印象を与えてしまっています。	児童2.5人に対して職員1名を配置しておりますが、送迎の時間帯は施設内での受け入れ準備と車両での送迎にスタッフが分断されるため、保護者様の目から見て職員が手薄に感じられる状況が発生しております。	送迎時の職員数が少ないというご不安を解消するため、送迎ルートの効率化や、ピークタイムに合わせたパートスタッフの増員・シフト調整を行い、より安全で安心いただける送迎体制を早急に再構築いたします。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アレタ児童デイサービス阪東橋
------	----------------

公表日 2026年3月17日

利用児童数

31名

回収数

10名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2	0	0	・送迎に関しては特に職員の人数は少なめなので、増えてくれるとより安心できます。	送迎時も安心してご利用いただけるように、職員配置と役割分担を見直します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	2	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0	・いつも楽しめる活動を取り入れていただきありがとうございます。 ・色々と工夫して活動をして下さっていて感謝しています。	今後も楽しめる活動が続くように、内容を見直しながら工夫して実施します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	0	0		地域との関わりを持てる機会を、無理のない範囲で少しずつ増やします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	5	0	0		ご家族向けの情報提供や学べる機会について、実施方法を検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0	・あるふあみで活動内容や子供の様子を細かく伝えて頂きありがとうございます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	3	0		保護者同士がつながれる方法を無理のない形で検討します。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2	0	0		各種マニュアルや訓練の内容を、保護者の皆様にもわかりやすくお伝えします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	2	0	0		安心して通所できるように、日々様子の確認と環境づくりを続けます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0		・とても楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		・個々に応じた遊び方で成長にも繋がっていると感じている。 ・職員やお友達との交流もとても楽しんでおり喜んで通っている。 ・利用日以外の受入れや送迎時間の対応ありがとうございます。 ・急な相談にもできる限り対応していただき感謝している。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アレッタ児童デイサービス阪東橋				公表日	2026年3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		児童人数2.5人に対して1名の職員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		肢体不自由の方向けに各所配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	個別の部屋などを置けるスペースがない	落ち着いて過ごせる場所を確保できるように、空間の使い方を工夫します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		密集等を避けるためZOOM等でも実施しております。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月、新たなプログラムを実施しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を実施して周知しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を実施して確認、共有をしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		当日支援を行った職員にて記録をとっており、その日いなかった職員にも内容がわかるよう記録しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管にて参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		一部の方には出来ている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		一部の方には出来ている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要な助言や研修につながるように、地域の関係機関との連携を進めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園等では交流はある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家族向けの学びや相談の機会を、無理のない形で検討します。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		特に契約時にご説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談があった際は行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	密集、密閉を避けるため実施出来ておりません。	保護者同士がつながれる方法を実施しやすい形で検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に責任者より謝罪し体制整備しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		アプリにて配信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫にて管理しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個人情報もある事で出来ていない	個人情報に配慮しながら、地域との関わり方を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者様には契約時にお渡しし、事業所には閲覧出来る状態にしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		6月と12月に実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様より指導していただいております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		防止対策としては防犯カメラを設置する事で見られている意識を持ち支援を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		今はないが準備は出来ている		